

第 2 回 倉 渚 地 域 審 議 会

総合計画実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
耐震補強事業	1	倉渚地域はどの学校が対象でいつ頃実施するのか。	新耐震基準の適用は昭和56年からである。平成17年度に実施した耐震強度調査では、倉渚東小と倉渚中央小が基準値を下回っている。倉渚中央小については、3小学校の統合に合わせ耐震補強工事を行なう予定。
倉渚地域ふるさと住宅等整備事業	2	ふるさと住宅建築の、受注業者はどこか。	6棟の一括発注で市内建築業者Aクラス13社を選定し、9月30日に入札。株研屋が落札、受注した。
	3	Aクラスの指名では、倉渚地域の建築事業者は参加できない。地域活性化のため地域内の事業は、地域業者が受注できるよう要望したい。	Aクラスの指名は、工事期間が2月末までと短い。6棟を同じ品質にしたい。管理上、工程を同一にしたい。国の検査対象事業であり、高い管理能力が求められること、また、分割発注では経費率が上がること等の理由である。
小栗の里整備事業	4	小栗の里整備事業は、将来の倉渚の農・工・商の活性化につながる事業だと思う。地域をあげての取り組みをお願いしたい。	構想に基づき計画・整備・運営をしていく。施設運営も含め地域審議会の意見を聞きながら検討を重ねていきたい。
			大きな事業であり、協力をいただきながら推進していきたい。
	5	小栗の里候補地はどこか。既存の物産販売所への配慮も願いたい。	他の業種との相互発展の観点から、多くの意見を聞きながら検討していきたい。
		飲食店や売店業者関係者の会議はどう考えているのか。	特定の方への声かけではなく、希望する方、多くの方々に参加いただく方法を検討していく。

事業名	No.	質 疑	回 答
小栗の里整備事業	6	J Aはぐくみが、榛名と保渡田に直売所を作った時にも、小さな直売所が潰れるという意見があったが、相談し共存を図り進めてきた。現在では客が増え喜んでいる。	多くの住民が参加できるよう、十分配慮したい。
	7	拠点施設周辺だけでなく、全地域での参加はどう考えているのか。	全体を考えた物販を考えている。基本構想書22ページにあるとおり、倉淵の魅力を盛り込んでいきたい。

地域に係る事業の質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
高崎都市内連携事業	1	温泉温度は何度か。また、休憩場所は新たに整備するのか。	温度は45度。休憩場所は、既存施設を利用。
		温泉化すれば休憩利用者の増加が考えられる。法事等で使用中は休憩できない。休憩スペースや食事処を是非検討して欲しい。	都市内連携事業は、温泉化までで終了だが、入客増を期待したい。利用客の状況を見て、通常の施設改修で対応していきたい。
自然公園整備事業 (大規模開発跡地整備構想)	2	大規模開発区域内に民有地が点在しており、その買収について倉淵村当時から地権者と協議してきたが、最近の状況はどうなっているか。	点在している民有地については、市で買収する方法や民有地を寄せて活用する方法など種々な検討がされている。買収については数年前の交渉から進んでいない。
		点在している民有地を避けて遊歩道を作るのは合理的でない。全部が市の所有にならないと有効活用は難しいと思う。貴重な財源を使うのだから、良い結果がでるような方法でお願いしたい。	(要望)

その他の質疑

No.	質 疑	回 答
1	小学校統合に伴い2校が廃校となるが、両校とも長い歴史があり文化の中心、地域活性化の拠点であった。廃校後の利用はどう考えているのか。	現在は白紙の状態。まず、統合を理解していただき、決定後に地域の皆さんと相談し、意見、要望等取り入れて検討していきたい。
2	小学校が統合すると通学のためのスクールバスが必要となる。市教育委員会はバスについてどのような判断をしているのか。	P T Aからも、地域からも要望が出ている。スクールバス導入なども含め、通学に支障がないようにすることは、教育委員会も考えており困難を解消したい。
	複式学級の解消が統合の最大の目的、一日も早く教育を受ける児童の立場に立って、教育が等しく受けられるよう要望する。	(要望)
3	倉渚東小学校も倉渚川浦小学校も利用の検討が始まっていないということだが、活用を並行して考えていくべき。県内の実例も視野に入れ有効活用を検討願いたい。	(要望)
4	選挙の投票所が8箇所から3箇所になる。高齢者核家族などは投票所へ行きづらくなり、投票率の低下が懸念される。ボランティアで送迎できないか。	今回の見直しにより投票所が、1～4区、5・6・8区、7区の3箇所となる。遠くなる方も出るが、高崎市全体では1投票所の有権者が少なくとも1千人を目安とし統合している。選挙は自主的にするもので、送迎は選挙運動ともとられかねず、無理と思われる。
5	投票所の見直しで、投票率が下がると思う。経費削減のためやるなら、高齢化で遠くへ行くのが大変であり、旧市内と環境が違う。それぞれの地域の投票率を上げることが目的だと思う。	選挙は投票率を上げることが一番大切。今回の3箇所は昨年から区長会を中心に意見をいただいた。徒歩の時代から交通手段も進歩し、期日前投票の比率も高くなってきている。全市での見直しで、全体的見地から検討いただき他地域と併せて変更となった。今後は、開票区内であれば、期日前投票をどこでも行えることとなる。

No.	質 疑	回 答
6	ぐるりんバスを第7区へ運行できないか。代替バスの補助金を出しているのだから、これを廃止し、ぐるりんバスの一路線として運行できないか検討して欲しい。	交通弱者救済などでぐるりんバスを運行している。路線バスとの競合は出来ない。利便性を考慮し迂回しているため時間が掛かるなど、問題もある。現在アンケート調査を実施し、市全体のぐるりんバス路線の見直しをしている。
	倉渕のぐるりんバスは300円と他地域に比べ高い。他とは違う地域性を配慮し改善願いたい。	(要望)
7	市の獅子舞保存会連絡協議会が無形文化財指定の要望をしたが、水沼や川浦の獅子舞も指定できないか。	合併前に指定され、合併後も市から指定されている。
8	地方債現在高の目安はどの位がよいのか。	地方債現在高は、普通会計ベースで1,140億3,982万円となっている。地方自治体の標準財政規模の2倍を目安としており、本市の標準財政規模は、約650億円程度なので、概ね1,300億円以内が目安と判断できる。
9	テレビの地上デジタル化に伴い、住民の中に不安が広がっている。12月に風戸峠に中継塔が出来ても、倉渕全戸をカバーできる状況ではないので、なるべく早く次の対策を講じて欲しい。二点目は見えない家が一世帯も出ないように願いたい。三点目は補助的な施設が必要になる場合の助成も願いたい。	(要望)
10	はまゆう山荘は経営が赤字であり、ふるさと公社という方法では改善が難しいと思う。公社を解体し、真の民間に委託すべきだと考える。横須賀市との5年間の利用契約もあるが、少なくとも収支バランスをよくしてもらわないと困る。相間川温泉と比較して人件費等も差がある。両施設とも市の財産であり調整をしないと問題がある。今後どんな運営をしていくのか。	横須賀市から委譲を受けた以降、ふるさと公社が指定管理者となっている。公社として集客数アップや人件費縮減を含めた歳出の見直し、職員の意識改革をしてサービスの質の向上等を続けているが、集客数が伸びず努力の成果が見られていない。近々、臨時のふるさと公社理事会があり、審議し検討していく予定になっている。合併後、市内に同様な施設が複数でき、将来的に見直していく必要性が議論されている。本地域の相間川温泉と両方の施設が共存、発展していければよいと考えている。
	横須賀市からの資金を消化し、まだ不足する状況であり、市のお荷物の施設になると思う。職員の意識を変えていかないと、その赤字は解消できない。倉渕の最終議会で、職員の人件費を削減するという報告を受けていたが、その点は確認しているか。	指定管理者になった以降は、経営努力の一環で人件費等の縮減をしている事実はある。地域活性化のため必要な施設であり、今の指摘を含めて理事会で有効活用、経営面の審議がされる。

No.	質 疑	回 答
	<p>賃金カットは、理事長自ら話をした。ふるさと公社の理事会で確認をして、次回の審議会に報告をしていただきたい。</p>	<p>(要望)</p>
1 1	<p>市町村合併で、ぐるりんバスが運行し、相間川温泉の利用が増加した。はまゆう山荘が温泉化するので、これを契機に市民の利用の機運を盛り上げるために、はまゆう山荘行のぐるりんバスを運行し、倉淵の自然豊かな所で温泉に浸かってもらうのも集客の手段になると考える。</p>	<p>(意見)</p>